



松本市民生委員・児童委員協議会だより

第89号

令和5年11月30日

ふれあい

発行者 松本市双葉4番16号
松本市民生委員・児童委員協議会
会長 草深邦子



松本市社会福祉大会で表彰

(10月26日)

社会福祉に功労のあった方々が表彰されました。
おめでとうございます。ご芳名は次頁にあります。

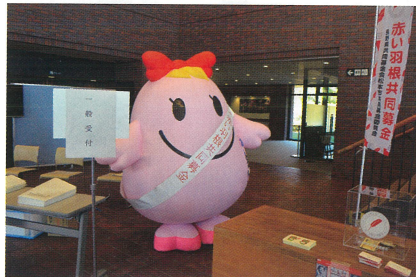
記念講演

「誰もが安心して暮らせる社会の実現
～こども食堂と私たちの地域・社会～」

講師 湯浅 誠 様



いろいろなブースがありました。



赤い羽根共同募金（愛ちゃんと）



フードドライブ（つむぎちゃんと）



福祉施設展示販売

令和5年秋の表彰者・令和5年度主任児童委員会・
5 専門部会活動報告…………… P2・P3
社会福祉部会視察研修…………… P4
児童福祉部会視察研修…………… P4
主任児童委員会研修…………… P5

今回のニューフェイス…………… P6
ワンポイントアドバイス…………… P7
100周年記念行事について・つぶやき・
訂正お詫び・編集後記…………… P8

令和5年度表彰者

【全国】

◎全国民生委員児童委員連合会会長表彰

●永年勤続民生委員・児童委員表彰

上條 祐史（安曇）

【長野県】

◎長野県社会福祉協議会会長表彰

●民生委員・児童委員功労表彰

上條 祐史（安曇）

◎長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

●永年勤続民生委員児童委員協議会会長表彰

白井 裕子（第三）
長岩 重男（田川）

●永年勤続民生委員・児童委員表彰

中原 文子（第二） 丸山 妙子（第三） 野村 長司（中央）
大高 住子（中央） 山田 和子（城東） 中村 宗晴（白坂）
長岩 重男（田川） 大谷美紀子（庄内） 萩原よう子（庄内）
齋藤 豊美（島立） 高山 澄子（芳川） 片桐 博人（寿）
前田 民江（入山辺） 橋浦満知子（本郷）

●優良単位民生児童委員協議会表彰

松本市安原地区民生委員・児童委員協議会

【松本市】

◎松本市社会福祉大会表彰

●社会福祉事業特別功労者（民生委員・児童委員）

長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰の皆様と同じ

表彰規定

・福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰・現職の民生委員・児童委員で在職期間が20年以上であり、民生委員・児童委員として都道府県知事の表彰を受けたもの
・全国民生委員児童委員連合会会長表彰・現職の民生委員・児童委員で在任期間が令和4年11月30日時点で10年以上
・長野県社会福祉協議会会長表彰・基準日（4月1日）に

において、民生委員・児童委員であり、在職期間が10年以上

・長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰・令和5年11月30日現在で在任期間が10年以上の現職の民生委員・児童委員
・松本市社会福祉事業特別功労者・現職の民生委員・児童委員で在職期間が10年以上

令和5年度

主任児童委員会・5専門部会 活動報告

主任児童委員会

委員長 赤井 幸子

5月、木曾ねぐめ学園を視察しました。家庭の事情で園舎で生活する子ども達の心のケアの重要性和自立に向けての難しさを感じました。また、地域に受け入れられ、社会福祉の拠点としての施設の大きな役割について研修することができました。

7月、松本市の子育て支援事業について松本市子ども育成課、こども福祉課より子どもプラザの取り組みや、赤ちゃん訪問の対応方法、ヤングケアラーについてなど幅広くお話ししていただきました。また、松本児童園の園長より児童園の概要や子どもたちの様子をうかがいました。全体を通して、幅広い知識の大切さと主任児童委員の心構えを再認識しました。

9月、「私の子どもたちへ」と題してぽこ・あ・ぽこ



講演会（ぽこ・あ・ぽこ） 9月25日

こさんの講演ライブを行いました。子育てや介護の苦勞に思わずうなずいたり、笑いあり涙ありのオリジナル曲を皆で楽しむことができました。コロナが5類対応となり、活動が戻りつつありますが、これからも地域に根差した心に寄り添う活動を目指したいと思います。

児童福祉部会

部会長 鷺澤 実男

第1回研修は、児童相談所の現状について、児童虐待の現状について、お話いただきました。

質疑応答にて、施設に連絡した市民児童委員にその後の連絡がない、どうなったか知りたいが、個人情報なので出せないと言われました。

第2回視察研修は、軽井沢学園のあゆみ等々、現場で携わる生の声を聞くことができました、施設を見学する時間がとれなく残念でした。

第3回研修は、子どもを取り巻くネット環境の現状と課題について、お話いただきました。SNSやネットにいったん投稿されてしまうと警察でも削除することはできない、相談を受けた時にはすでにコピーが拡散されているとのことでした。

事務局、部会の皆様、ご協力ありがとうございました。

社会福祉部会

部会長 大石 淑子

社会福祉部会として他の部会ができない研修をしようと考えて企画しました。第1回目は4月にささえあいマップについて研修を行いました。すでに作製している地域の状況と、地域福祉課の取り組みについてお話を聞きました。

第2回目は7月に施設研修として長野市の広域フードパントリー「むすびや」を見学しました。長野県でのフードバンクの活動等についてお話を聞きました。

第3回目は10月に、梓川支所で成年後見制度について研修を行いました。「成年後見支援センターかけはし」の方がわかりやすく解説してくださいました。これらの研修が今後の活動の参考になればと思います。

高齢者福祉部会

部会長 岩上 友重

本年4月に年間計画を役員会にて決定しました。座学研修4月9月にて内容は4月高齢者福祉制度、9月はフレイル予防、6月には視察研修を行うことで決まりました。座学研修では質問や疑問に積極的に手を上げていました。

6月の視察研修は松本市四賀デイサービスセンターぶくぶくの郷に訪問。短時間ではありましたが色々な設備を見たり高齢者とのレクリエーションに参加。四賀支所の課長さんのお話、今後部会が高齢者施設の身近にいる介護職、デイサービスセンターの仕事、この職業に入った訳など視点を交えての研修も考えてみては？と思います。いくらコロナ感染状況が少し緩和しても状況は変わらない、高齢者による施設研修はいかがかと思えます。

役所の担当の皆さん、部会の皆さん、大勢の参加ありがとうございました。

障がい者福祉部会

部会長 中田 茂

3月の役員会で研修会（座学2回）、視察研修1回を計画しました。4月に市の障がい福祉課の方を講師に障がい者福祉制度について、DVDも使って学びました。6月には障がい者支援施設「あい・アドバンス今井」、福祉型障がい児入所施設「信濃学園」を訪問し、内部見学とモニターでの日常生活等の説明を受けました。10月に就労支援施設の現状、障がいのある方との向き合い方の研修を開催する予定です。

先日、歩行者道路で小学校の先生が生徒に「点字ブロックの上は障がいのある人が使うので歩かないように」と指導していました。今回の研修を通じて私たちも障がいのある人となない人をつなぐ役割ができればと思います。

広報部会

部会長 片桐 博人

自身二度目となる広報部会長という重責の中、本年も例年同様広報「ふれあい」を3回発行する事が出来ました。

やっとなりコロナ禍の活動自粛も開け、各地域活動や市民協働専門部会の活動等も再開されつつあり、それに伴い各部長さんはじめ多くの皆さまの寄稿により内容も充実したものとなりました。

改めて、御協力をいただきました皆さまに感謝申し上げます。

それと、今年は松本市市民協創設100周年ということで、その記念事業の一貫として、以前制作し全戸配布した「民生・児童委員」のチラシを見直し、改めて発行する運びとなりました。

各ブロックより代表して担当を受けていただきました委員の皆さまには、発行まで本年の任期を跨いでの活動となりますが、御協力をお願いいたします。

最後に、これからも広報「ふれあい」を通して委員の皆さまが情報共有し、日頃の活動に活かせる紙面となつていきますようお願いいたします。

〜ご支援ご協力ありがとうございました〜

部会視察研修

社会福祉部会視察研修

梓川地区民生委員・児童委員協議会 戸澤 美恵

7月13日に、社会福祉部会の視察研修で、長野市の広域フードパントリー「むすびや」に行つてまいりました。

令和3年6月に開所された「むすびや」は旧生活困窮者の救護施設(旭寮)の建物をそのまま利用して、信濃福祉施設協会・長野県社会福祉協議会の4つの社会福祉法人が連携して運営しています。

各市町村の食の助け合い活動促進と余剰食材の倉庫の役割をし、広域に渡つて食料調整をし、各フードバンク団体との連携をとつていふとの説明を受けました。例えば、コロナ禍での個別に食料品の配達支援や、生活困窮者への食や、日用品の提供をした事や、仕分け作業には、中々就労出来ずにいる若者の就労体験としてのサポートステーションの役割を担つていふとの事でした。

このフードバンク活動を通して、「子供達や若者、子育て世帯への応

援をしていきたい。子ども食堂や、こどもカフェなどの活動を応援し、地域で子供や若者を支え、育み、どこでも実家宣言をしていきたい」とのお話でした。

また、施設内には災害時の備品や防災用品も備蓄しており、先の災害にも使用したであろう沢山の備品の倉庫として活用されていきました。

昨年の12月16日に長野県フードサポートセンターが開所された事によつて、ドライフードしか渡せなかった生活困窮者に、生鮮食料品も選んで渡せるようになったとの説明も受けました。今まで知らなかった事を沢山教えていただき、大変勉強になりました。

その後は、善行寺宿坊にて精進料理で昼食をいただき、仲見世散策をして帰路につきました。

児童福祉部会の研修を終えて

本郷地区民生委員・児童委員協議会 百瀬 敏雄

児童福祉部会では3回の研修がありました。

第1回は5月29日、児童相談所について、業務内容・相談種別・相談の流れや児童虐待などの説明を受け学びました。

第2回は7月14日、児童養護施設「軽井沢学園」への視察研修でした。委員31名が参加し、松本市のバスで向かいました。

軽井沢学園は、昭和22年に開設され、その後軽井沢町、社協が主体となつて運営、本年6月に全面改築されたもので、管理棟と6人が居住する棟が6連の最新の施設でした。

園長さんから1時間半、説明を受けましたが、町職員で社協にかかわつてきたということから、社協との結びつきが強いと感じられました。

児童数は、小・中・高校生他35名で、職員38名で世話をし、運営していました。

運営資金面で厳しい中、経験豊かな園長がしっかりした後援会を組織し、振り込みによる寄付を受け児童に還元し、更にはクラウドファンディングによる車両購入など、制度活用や工夫と努力を感じました。説明のみで、施設内見学ができず、非常に

残念でした。

視察後、軽井沢町へ移動しての昼食となり、ほかの地区の委員さんと、日頃の活動状況や苦労話など、交流できたことも有意義な研修となりました。

第3回は9月20日、県警本部サイバー犯罪捜査課と松本署生活安全第一課の警察官から「子どもを取り巻くネット環境の現状と課題」についてお話をお聞きしました。

青少年のインターネット利用の時間、内容など統計的なことから、青少年をめぐるインターネット社会で何が起きているのか、子どもを被害者や被疑者にしないため、どんなところに注意をし、どのように対策、対応している事案などで、はじめて聞く用語もあるなど具体的な内容であり、ネット社会の中で少年の相談を受けた場合でも、少しは対応できるかなと思えました。

児童福祉部会では、今年度3回の研修があり参加させていただきましたが、いずれも民生児童委員として知っておくことばかりで、これからの活動の中で活かしていければと思っています。

◆主任児童委員会研修を終えて

神林地区民生委員・児童委員協議会 主任児童委員 木次 由美子

令和5年度計画された研修は、5月の視察研修、7月の全体研修、9月の講演会がありました。

5月の視察研修は木曾ねざめ学園へ、2日間2班に分けて伺いました。学園に到着して、まず園長先生から、学園の歴史や入所している子供たちの状況、これからのビジョンなどお聞きしました。

松本から2時間かかるのですが、入所している子供たちは木曾郡内より松本市や安曇野市からの子供たちが多く、虐待を受けて入所している子供たちのケアのため様々な医療機関から指示を受けていること、また今後は支援のネットワーク、連携体制の構築も進めていくとのことでした。

お話の後は園舎の中を拝見しました。綺麗に建て替えられた園舎はクラウドファンディングや寄付によるところも大きく、地域交流室は地域の方にも開放されているとのことでした。各ユニットの食卓は地域の作家による一品もので子供たちが楽しく食事をしている姿が目につかぶようでした。

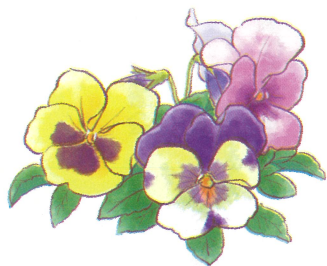
学園の視察の後は、木曾町のおもちゃ図書館に寄りました。素朴であ

りながら仕掛けの面白い木のおもちゃ。このぬくもりを親御さんからお子さんに伝えてもらいたいなと思いつつ見えてきました。

7月の研修は、こどもプラザのお話、市の子育て支援事業について、松本児童園の現状と盛りだくさんのお話をお聞きしました。

9月の講演会は、ぼこ・あ・ぼこさんのコンサートでした。身近な光景を歌った歌にクスツしたり、うなずいたり。

沢山のお話をお伺いして、主任児童委員として、地域のお子さんを見守ることはもちろん、親御さんの変化にも気づけるよう、そして何かあれば専門職につなげられるように、普段からつながりのある活動を心がけたいと思います。



地区活動の様子

松原地区 〈カンガルーの会 ママカフェ〉 9月27日



松原地区 〈第2ふれあい健康教室・カンガルーの会 合同夏祭り〉 8月23日



連載

今回のニューフェイス

令和4年12月1日から任期をスタートさせた1期目の民生委員・児童委員さんにお話を伺いました。

四賀地区

四賀地区民生委員・児童委員協議会

小幡 めぐみ

ギフトッドという言葉聞いた事がありますか。特殊な能力を持つ子供の事をいうのだそうです。私が民生委員として一人暮らしの高齢者を訪問するようになって、まず感じたのが、この方々はある意味ギフトッドだという事です。

一人暮らしとはいえ、多くの高齢者は公的サービスや近くに住む親族などのサポートを受けて生活していますが、自力でこの家で生き抜こう、という強い意志と自立心をもっています。とにかくこの気持ちのしっかりしているのには驚かされます。

町会長から、時々高齢者を訪問して話し相手になつてほしい、などと言われて引き受けた委員ですが、とんでもない、こちらが勉強させて頂く事ばかりです。

元気でしつかりしているとはいえず、彼らの生活は常に綱渡りです。時計の電池交換をしていて踏み台から落ちた、愛犬に飛びつかれて尻餅をついた、こんな些細な事が歩行ができなくなったり、寝たきりになってしまう引き金です。長い人生の中で、大きな自然災害や中には先の大戦の大空襲まで体験して、これまで生きて来られた方々です。長寿で元気でしかも頭もクリア。これは天から授かった特殊能力という他ありません。まさにギフトッドです。

小さな変化や不都合に、少しでも早く気づいて差し上げたいとつくづく思います。

こんな滋味深い方々と交流させて頂ける事を、心から感謝しています。

地区活動の様子

島立地区

〈ふれあい会食会〉

4年ぶりに開かれました。

10月24日



寿地区

〈ふれあい会食会〉

10月3日



ふれあい会食会につむぎちゃんもゲスト参加♡



ふれあい会食会参加者の皆さんに小学生から素敵なプレゼント

ワンポイント アドバイス

活動に楽しみを見出して

波田地区民生委員・児童委員

田中 公男

波田地区の民生・児童委員は、毎年4月の年度初めの約1週間、地区の小学校新一年生の下校見守りを行っています。私にとつてこの見守りは、春の心地よい日差しの下、学校生活への期待に胸をふくらませる新一年生から元気をもらえる楽しい活動の一つです。今年もいっしょに歩く子どもたちと「今日はどんなお勉強をしたの?」「担任の先生のお名前はなんていうの?」等の話をしながら、その安全を見守りました。

踏切や信号機のない横断歩道等の危険箇所での安全確認といった気をつけてほしいポイントを、引率の先生が現場でその都度指導します。その指導に従ってきちんと安全確認を行い、真つ直ぐに手を挙げて道を渡る子どもたちの姿がほほえましいです。中には友だちとの会話に夢中になりすぎ、安全確認がおろそかになる子どももいて「ちゃんと前を向いて歩くんだよ」と思わず注意をしようということがあります。しかし、待ち合わせ場所にお家の方の姿を見つけてそこに突進していく姿に、子どもたちの慣れない学校生活での緊張が解けた一瞬を見るようでいじらし

くなりました。

この見守りの期間が終わると、一年生もひとり立ちをして学校に通います。どうかこの期間に学んだことを心に留め、事故なく安全に登下校をしてほしいと願っています。

この見守り下校で狭い道での車の往来に注意しながら歩いている時、通学路脇の民家の庭一面に色とりどりに咲き誇るシバザクラを見つけて「きれいだねえ!」と、思わず足を止めて子どもたちと見とれたこともありました。安全に気を配りながら、このように時には移り行く四季の風景に目を向けて心豊かに、友だちといっしょに登下校を、学校生活を楽しくしてほしいとも思っています。

この下校指導から半年たった今も、通学路で黄色の安全カバーがかけられたランドセルを背負う子どもを見かけると、思わず笑顔になつてしまします。何かと気苦労も耐えない民生・児童委員の活動ですが、その中に楽しみを見出していきたいです。

波田地区

〈見守り活動〉

新小学一年生の下校見守りを年度初めに行います。



100周年記念行事について

○記念講演会 令和6年1月21日(日)
キッセイ文化ホール

- ・講演会
- ・記念事業

○記念誌作成

- ・松本市民生委員・児童委員協議会100年の歴史
- ・35地区の取組みについて
- ・（活動に対する思いや今後の展望）等

○記念品作成

- ・現在ご活躍いただいている委員の皆様にお配りするもの

※ 広報部会で作成チームを立ち上げ、地域の方々に民生委員・児童委員の役割を知っていただくためのチラシを作成します。

くさやき

松原地区民生委員・児童委員協議会

早坂 美穂



我が家には1歳半の犬がいます。野菜が大好きで特にきゅうりが大好物です。まな板できゅうりを切り始めると喜びながら大騒ぎをするので、ついついあげてしまいます。ただ一つ困る事は、玉ねぎを切っていて、じゃがいもを切っていて、きゅうりと勘違いをして喜び始めてしまう事です。特別に賢くなくても良いのです。たくさん遊んで、食べて、寝て。また明日も元気でいてくれるだけで良いのです。来年は庭できゅうりを作ろうと思います。来年の楽しみがまた一つ増えました。

9月定例会で配布をしていただいた「ふれあい88号」について、一部誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

- 3ページ「高齢者福祉部会視察研修」の2段目の8行目の四賀地区の人口について

誤 3,000人に
↓
正 3,000人台後半に

編集後記

ふれあい89号をお届けします。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

昨年12月に一斉改選で、新たな任期が始まりました。

広報部会の委員として、87号の発行から携わらせていただきました。今回の89号の発行で一年間の部会の活動も終了です。

コロナの5類移行後、民生委員・児童委員の活動も活発になってきました。それぞれの地域で元気に活動していきましょう。

(C・S)

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。取り上げてほしいテーマなどがございましたら事務局までお知らせください。

TEL 27-3381 FAX 27-2239